

保証規定

■保証規定

本製品は、厳重な検査に合格した後、皆様のお手元にお届けしております。取扱説明書、本体注意ラベルなどの注意書に従って正常なご使用をされたにも拘わらず保証期間内に万一、弊社の責任に基づく故障がございました場合には、納入日より12か月を保証期間として、当該品を無償にて欠陥部品の手直し、修理、または新品と交換させていただきます。ただし、二次的に発生する損失の補償及び次の場合に該当する故障についての保証は対象外とさせていただきます。

- 1.保証期間:**製品を納入申し上げた日より起算して12か月間といたします。
- 2.保証内容:**保証期間中に、本製品を構成する純正部品の材料、もしくは製造上の欠陥が表われ、弊社がこれを認めた場合、修復費用は全額負担いたします。
- 3.適用除外:**保証期間中であっても、下記の場合には適用いたしません。
 - (1) 純正部品以外の部品を使用された場合に発生した故障。
 - (2) 使用・取扱上の過失による故障、保管・保安上の手入れ不十分が原因による故障。
 - (3) 製品の構成部品を腐食・膨潤、または溶解するような液体を使用されて生じた故障。
 - (4) 弊社、または弊社の販売店・指定サービス店以外の手によって分解修理がなされた場合。
 - (5) 製品に弊社以外の手によって改造・変更が加えられ、これが原因で発生した故障。
 - (6) パッキン、Oリング、ホースなどの消耗部品の摩耗。
 - (7) 指定外の電源(電圧)で使用された事により発生した故障及び損傷。
 - (8) お買上後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷。
 - (9) 火災、地震、水害、及びその他天災、地変などの不可抗力による故障及び損傷。
 - (10) 不純物や過度のドレンが混入した圧縮エアを動力として使用したり、指定の圧縮エア以外の気体・液体を動力として使用したりした場合に発生した故障。
 - (11) 過度に摩耗性を有する材料や、本製品に不適當な油脂を使用された場合の故障。
 - (12) 日本国外においてご使用の場合。

尚、本製品及びその付属品に使用されているゴム部品など、あらゆる自然損耗する部品、消耗部品ならびに下記部品については、保証の適用から除外させていただきます。

・ホース類 ・各種パッキン類 ・コード類

- 4.補修部品:**補修用部品の最低保有期間は、製造打ち切り後5年とさせていただきます。製造打ち切り後5年を経過したものにつきましては、供給いたしかねる場合もございますので、何卒ご了承ください。

株式会社ヤマダコーポレーション

本社・営業本部 〒143-8504 東京都大田区南馬込1丁目1番3号
ホームページ <https://www.yamadacorp.co.jp>
E-mail sales@yamadacorp.co.jp



札幌営業所 東京営業所 大阪営業所 福岡営業所
仙台営業所 名古屋営業所 広島営業所 相模原工場

製品お問合せはこちらへ ☎0120-518-055

202212 HRS028U

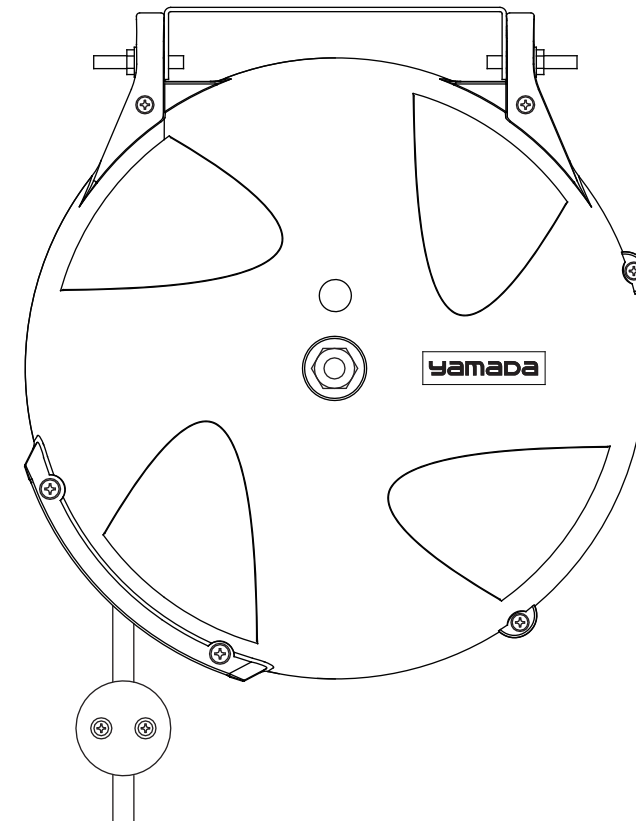


Doc.No. HRS 028U-00

取扱説明書 コードリール

型式

687223 YR-3E10N



INDEX

はじめに	2
安全上のご注意	2-3
各部の名称と役割	4
コードリール仕様	5
設置方法	5-7
ご使用方法	8-9
メンテナンス	10
故障と処置	11
保証規定	12

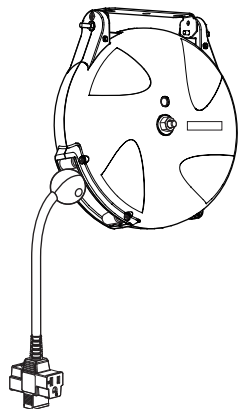
⚠ 警告

安全のため、本製品のご使用の前には必ずこの取扱説明書を良く熟読し、記載されている重要警告事項をよく理解してください。また、本取扱説明書をいつでも使用できるよう大切に保管してください。

YAMADA CORPORATION

はじめに

このコードリール取扱説明書では、ご使用にあたって注意していただきたいことや、基本的な使い方、および、より有効に活用する方法を説明しています。コードリールを正しくご使用いただくためにも、この取扱説明書をよくお読みください。読み終わった後は、いつでもご覧いただけるよう、大切に保管してください。



警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、破裂・破損などにより死亡や大けがなどの人身事故につながる場合があります。



この表示の注意事項を守らないと、破裂やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



注意



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



定格を守る

行為を指示する記号



指示
を守る



取扱説明書
を読む



アース線を
接続する



プラグを
抜く

本製品を正しく安全にご使用いただくために

安全上のご注意



警告

当社の製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故につながることもあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

■安全のための注意事項を守る

注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

■故障したら使わない

すぐに使用を中止し、お買い求めの販売会社に修理をご依頼ください。

■万一異常が起きたら

- ・煙が出たら
- ・異常な音、においがしたら
- ・内部に水、異物が入ったら
- ・製品を落としたり、製品や付属品が破損したとき

- ① 使用している工具や機器の安全を確認してから電源を切る。
- ② ジョイントコードをコンセントから抜く。
- ③ 使用を中止して、お買い求めの販売会社に修理をご依頼ください。
- ④ 修復を完全に行うまでリールのご使用を中止してください。



警告



火災



感電



注意

下記の注意事項を守らないと破裂や破損などにより死亡や大けがの原因となります。



取扱説明書
を読む

取扱説明書をよく読み理解した上で使用する

誤使用により、思わぬ事故の可能性があります。



指示を守る

子供や幼児の届かない場所に設置する

事故やけがの原因となります。



禁止

屋外で使用しない

さび、腐食などで火災や故障、異常動作の原因となることがあります。本製品は屋内仕様です。



定格を守る

定格電圧・電流を超えて使用しない

リール本体、コードおよび接続された機器の故障や、火災や感電の原因になるおそれがあります。製品の仕様(参照:P.5「コードリール仕様」)をご確認のうえ、ご使用ください。接続された機器が正しく動作しない場合があります。



アース線を
接続する

アース線を接続する

アース線を接続しないと感電の原因となることがあります。アース線を取り付けることができない場合はお買い上げの販売代理店にご相談ください。



プラグを
抜く

お手入れの際や、長期間使用しない場合はプラグを抜く

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

また長期間使用しない場合は、安全のためコンセントからプラグを抜いてください。



禁止

油煙・湯気・湿気・水気・ほこりの多い場所や高温になる場所には設置しない

上記のような場所に設置すると、火災や故障、破損の原因となることがあります。



禁止

落雷のおそれがあるときは使用しない

落雷により火災や感電、本体が故障することがあります。雷が予測されるときは、火災や感電、本体の故障を防ぐために電源プラグをコンセントから抜き、雷が鳴り出したら、本製品には触らないでください。



禁止

本製品に水やオイルなどの異物を入れたり、付着させたりしない

ドラム内部に水や異物が入ったり、外装に水や塗装ミストなどの異物が付着したりすると故障の原因となることがあります。

万一、水や異物が入った場合は直ちに接続された機器を外し、お買い上げの販売代理店に点検・修理をご依頼ください。



指示を守る

日本国内で使用する

海外など、異なる電圧で使うと火災や感電、故障の原因となることがあります。指定された電圧でご使用ください。



禁止

不安定な場所に設置しない

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、倒れたり落ちたりしてけがの原因となることがあります。また、設置・取付場所の強度も十分にお確かめください。



禁止

直接日光の当たる場所または熱器具近くに設置・保管しない

内部の温度が上がり、火災や故障の原因となります。

また、リール本体やコードの耐久性低下の可能性があり

ます。



分解禁止

修理技術者以外による分解・修理・改造はしない

本製品には電圧の高い部分があるため本体をむやみに開けたり改造したりすると、故障や異常動作の原因となることがあります。

また、本製品には強力なゼンマイが内蔵されています。部品等が勢いよく飛散し、けがをするおそれがあります。

点検・修理はお買い上げの販売代理店にご依頼ください。



禁止

コードを傷つけない

コードを傷つけると、火災や感電、けがの原因となることがあります。

・コードを加工したり、傷つけたりしない。

・コードを無理に折り曲げない。

・重いものをのせたり、引っ張ったりしない。

・熱器具に近づけたり、加熱したりしない。

・コードをコンセントから抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、コードが傷んだ場合は直ちに使用を中止し、お買い上げの販売代理店に交換をご依頼ください。

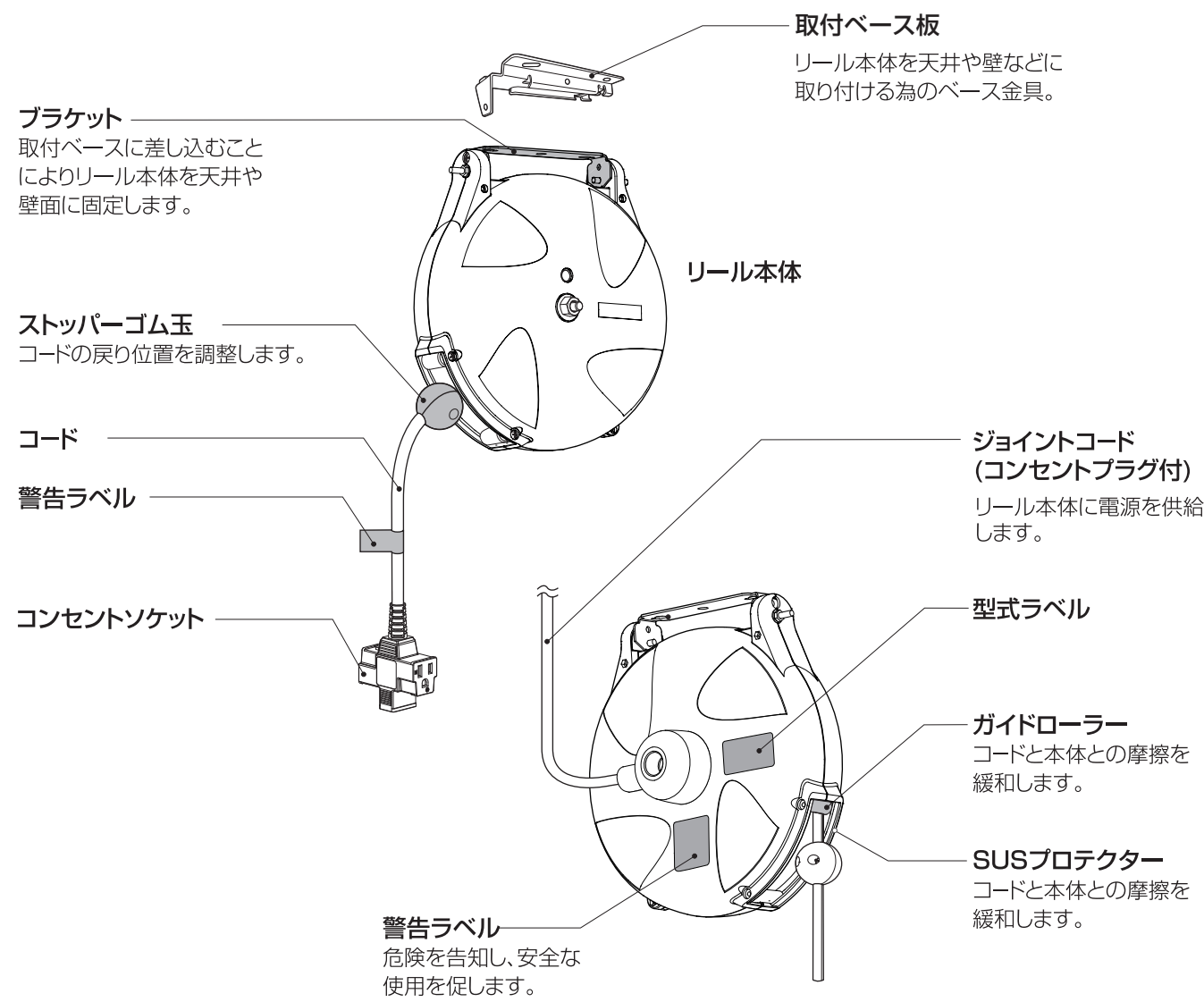


指示を守る

警告ラベルは剥がさず、大切に使用する

剥がれや汚損、劣化された場合はお買い上げの販売代理店からご購入のうえ、正しく貼付してください。

各部の名称と役割



設置方法

この項の設置方法は、リール取付および、エア接続を行う工事会社の方を対象にしています。

警告
下記の注意事項を守らないと破裂や破損な
どにより死亡や大けがの原因となります。

火災

感電

注意

指示を守る

組立・設置の際、作業者の安全対策を徹底する

取り付けが高所作業になる場合はハシゴや脚立を使用せず、安全に作業できる高所作業リフトや足場を設置のうえ、必ず安全ヘルメットを着用し、落下防止の安全帯を使用してください。

また、万一の製品および作業工具の落下に備え、作業中は取付場所の真下への立ち入りを禁止してください。

指示を守る

本書の内容に従い、正しく組立・設置する

ジョイントコードは、コンセントに確実に差し込んでください。プラグの差し込みが不十分だと、火災や感電、コード抜けや漏電の原因となります。

リールは、必ず付属のスプリングワッシャーと蝶ナットで固定してください。リールの固定を忘れると、リールの落下など重大な事故の原因となります。

禁止

直接日光の当たる場所または熱器具近くに設置・保管しない

内部の温度が上がり、破裂や故障の原因となります。また、リール本体やホースの耐久性が低下するおそれがあります。

アース線を接続する

アース線を接続する

アース線を接続しないと感電の原因となることがあります。アース線を取り付けることができない場合はお買い上げの販売代理店にご相談ください。

指示を守る

日本国内で使用する

海外など、異なる電圧で使うと火災や感電、故障の原因となることがあります。指定された電圧でご使用ください。

指示を守る

設置（据付）および移設について

本製品の設置（据付）および移設はお買い求めの販売会社へご依頼ください。移設の場合は販売会社による点検を実施してください。

設置場所は十分な強度を確保し、落下・揺れなどがないよう考慮してください。

取付場所付近まで、コンセント等電源設備の施工を行ってください。施工は、ジョイントコードの長さ（参照:P.5「コードリール仕様」）をご確認いただいたうえで、コードに余裕ができる位置をお願いいたします。また、接続電源部分にはアース端子等接地が可能な仕様でお願いいたします。

禁止

不安定な場所に設置しない

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、倒れたり落ちたりしてけがの原因となることがあります。また、設置・取付場所の強度も十分にお確かめください。

禁止

油煙・湯気・湿気・水気・ほこりの多い場所や高温になる場所には設置しない

上記のような場所に設置すると、破裂や故障、破損の原因となることがあります。

禁止

定格を守る

定格電圧・電流を超えて使用しない

リール本体、コードおよび接続された機器の故障や、火災や感電の原因になるおそれがあります。製品の仕様（参照：P.5「コードリール仕様」）をご確認のうえ、ご使用ください。接続された機器が正しく動作しない場合があります。

禁止

揮発性・可燃物の近くには設置しない

上記のような場所に設置すると、火災の原因となる事があります。

■付属品

箱の中に同梱品（本体・付属品）が全て揃っているか確認してください。付属品に不備があった場合は直ちにお買い上げの販売代理店にご連絡ください。

取扱説明書

取扱説明書
(本書)
1冊

①

取付ベース板
1 個

②

十字穴付
ナベ小ねじ
(M6×20)
4 個

③

スプリング
ワッシャー
&ナット (M6)
4 個

④

スプリング
ワッシャー
&蝶ナット (M6)
1 個

■コードリール仕様

※改良のため仕様など予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

製 品 名	コードリール
型 式	687223 YR-3E10N
リール設置場所	屋 内
使 用 コード	ビニルキャブタイヤコード
断面積(mm)×心数	1.25× 3
コード全長(m)	10.0
コンセント仕様	3口 コンセントソケット (2口:接地 2P 15A 1口:2P 15A) ※リール本体の定格電圧・電流を超える使用はできません。
ジョイントコード	コンセントプラグ (アースクリップ付き) 長さ:0.8m
定格電圧 / 定格電流	AC125V/6A
使用温度範囲	−5℃~+50℃
本体重量(kg)	4.1
温度過昇防止スイッチ	有
標準付属品	取付ベース板一式

設置方法

取付前にリール本体の仕様と損傷の有無、
付属品の欠品の有無を確認してください。

■設置に必要な道具

- 安全に作業できる高所作業リフト
または安定した足場
(ハシゴや脚立は使用しないでください)
- モンキーレンチ
- スパナ (10 mm)
- プラスドライバー (No.2)

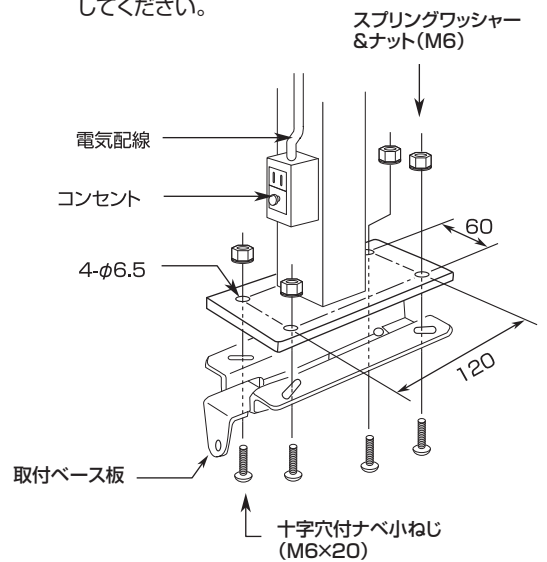
■下準備

- リールの取付方向に合わせて、
電気配線とコンセントを施工する
(アース端子付きで施工してください)

■天井取付の場合

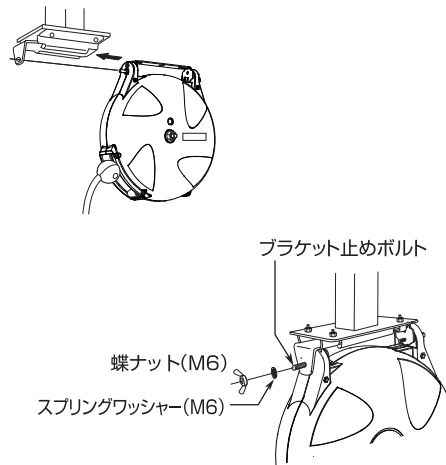
●記載された取付場所は一例です。

1. 付属の取付ベース板を取付場所に固定するときは、十分な強度を確保し、落下しないよう確実に固定してください。



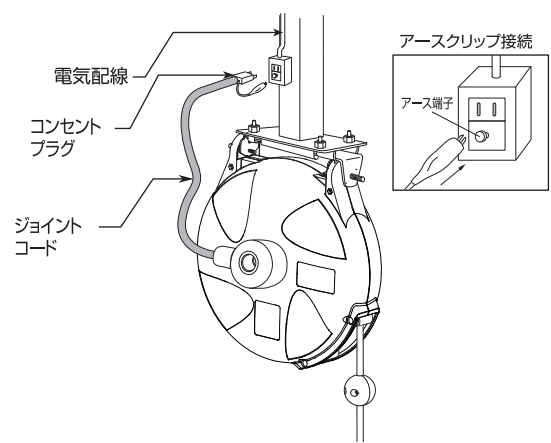
■コンセントは、接地端子付きで施工してください。

2. 取付ベース板を固定した後、下図のようにリールを取付ベース板に差し込み、取付ベース板から出た先端のブラケット止めボルトに付属品のスプリングワッシャー (M6) を入れ、蝶ナット (M6) で確実に締め込んでください。



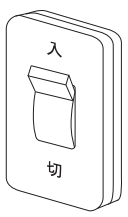
■落下防止のため、スプリングワッシャーを必ず付けて、蝶ナットを確実に締めてください。

3. リールを確実に固定してから、ジョイントコードのコンセントプラグをコンセントに差し込んで接続してください。

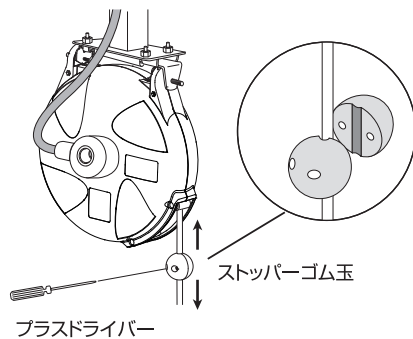


■アースクリップはアース接続部に必ず接続してください。

4. リールへの電気配線の電源ブレーカー等を入れてください。漏電などがないか確認してください。



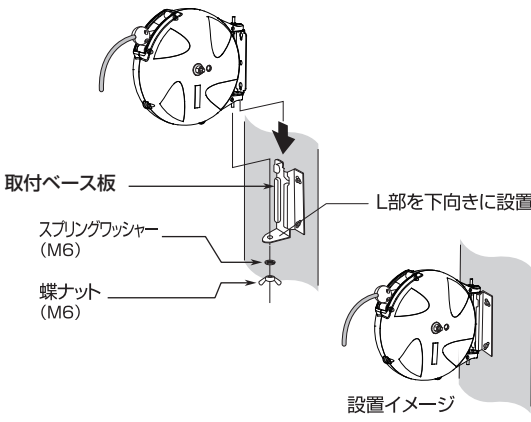
5. 最後に、ストッパーゴム玉を使用状況に合わせて調整します。ストッパーゴム玉の固定ビスをゆるめ、希望する長さの位置にストッパーゴム玉を移動して調整してください。その後ゆっくりと全引き出し/全戻しを行い、動作に問題がないか確認してください。これで取付完了です。



■壁面取付の場合

●記載された取付場所は一例です。

付属の取付ベース板を取付場所に固定するときは、十分な強度を確保し、落下しないよう確実に固定してください。
(L部を下向き)

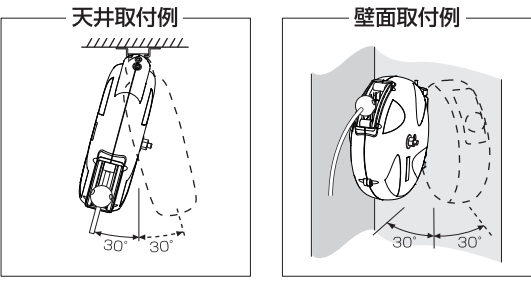
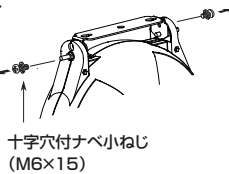


■取付ベース板を壁面に取り付け、リールを差し込んで付属のスプリングワッシャー (M6) および蝶ナット (M6) で確実に固定してください。

以下「天井取付の場合」の3.4.5.を参照してください。

■首振りの場合

リールの首振りを使用する場合は、本体ブラケット上部の十字穴付ナベ小ねじ (M6×15) 2本を外してください。



- 首振りさせた際、ジョイントコードが引っ張られないよう余裕をもって接続してください。
- 首振りの際、本体が壁や設備、人などに当たらないようにしてください。

壁面取付で、低い位置に設置されている場合などは、首振りが便利です。

ご使用方法



警告



火災



感電



注意

下記の注意事項を守らないと破裂や破損などにより死亡や大けがの原因となります。



始業点検および終業点検を説明書の本文に従って必ず実施する

指示を守る
特にコード・コンセントソケットの損傷・キズ・変形・摩耗および汚れがないことを確認してください。



コードリールを電源供給以外の目的に使用しない

禁止
目的以外の使用は、本体の破損や故障の原因となり、けがや施設・設備等の損傷をまねくおそれがあります。



定格電圧・電流を超えて使用しない

定格を守る
リール本体、コードおよび接続された機器の故障や、火災や感電の原因になるおそれがあります。製品の仕様参照：P.5「コードリール仕様」をご確認のうえ、ご使用ください。接続された機器が正しく動作しない場合があります。



メンテナンスを行う

指示を守る
日常のお手入れや定期点検を行ってください。



コードに負荷のかかる使用は避ける

禁止
本体やコードの破損、故障の原因となります。



コードには絶対ぶらさがらない

禁止
リールの落下、本体の破損や故障の原因となり、けがや設備等の破損をまねくおそれがあります。



コード出口の中に手をいれない

禁止
大けがをするおそれがあります。

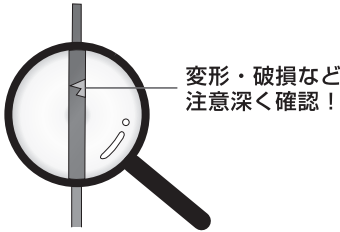
使用方法などでご不明な点のある場合は、使用を中止してお買い上げの販売代理店へお問い合わせください。
また、リール本体やコードに異常が見られる場合は直ちに使用を中止し、お買い上げの販売代理店に点検・修理をご依頼ください。

■下記の点に留意し安全な作業をお願いします

1. 始業点検

毎日、作業前に必ず始業点検を行ってください。

点検箇所	内容	点検方法
コード	変形・破損・摩耗はないか	目視
	汚れ(水・油・泥)はないか	目視／掃除
	引き出し・巻き取りはスムーズか	目視
コンセントソケット	変形・破損・摩耗はないか	目視
	汚れ(水・油・泥)はないか	目視／掃除





警告

異常と思われる箇所が発見された場合は、異常箇所の修復を完全に行うまでリールの使用を中止して直ちにお買い求めの販売会社にご連絡してください。そのままお使いになるとリールの破損および重大な事故につながる危険性があります。

2. 終業点検

作業が終了したら、コードやコンセントソケットに付着した汚れ(水・ゴミ・油など)をきれいに拭きとってください。この時何か異常が発見された場合、直ちにお買い求めの販売会社にご連絡してください。



警告

コンセントソケット拭き取りの際は、必ず電源ブレーカーをOFFにするか、コンセントプラグを抜いてから作業してください。

作業終了後は、電源ブレーカー等を全て切って終業してください。



3. 引き出し操作

コード出口に対し正面に立ち、両手でコードを掴んで希望する長さまでコードをゆっくり引き出します。ロックがかかったことを確認してから手を離し、使用してください。
もしその位置でロックがかからない場合には、さらに6～40cmゆっくとコードを引き出してください。ロックがかかります。



注意

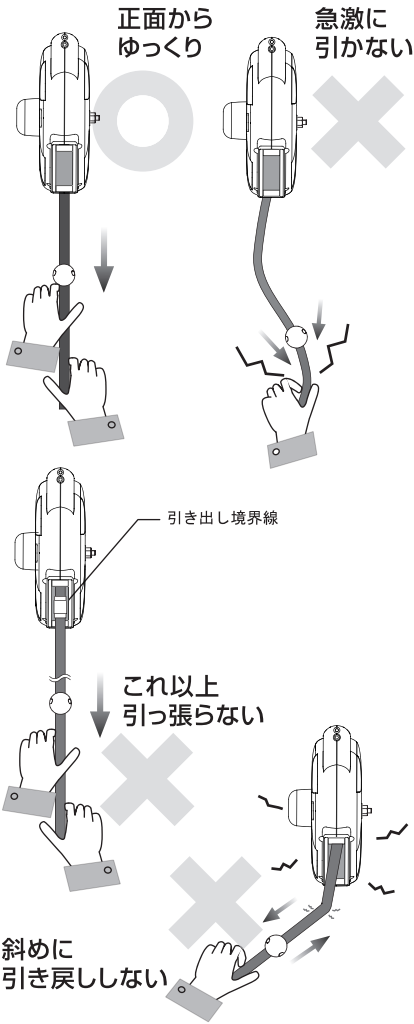
■コードを引き出す際には、必ずリール正面から静かに引き出してください。リール横方向に引くと本体に負荷がかかり、コードやリール取付部が破損し落下するおそれがあります。

■引き出し限界線以上はコードを引き出さないでください。
※強く引かなくてもロックは外れます。

■最後まで急激な勢いで引き出すと、内部ドラムが必要以上に回転し、リールがロック状態になり巻き戻しができなくなります。

■コンセントソケット部や、先端に取り付けた器具を引っ張らないでください。コードの折れ曲がりや、器具破損の原因にもなります。また、折り曲げた状態での引き出し操作は行わないでください。

■使用中、コードによるつまずき、からまりに注意してください。



4. 巻き戻し操作

使用後、コードを巻き戻す時は、コード出口に対し正面に立ち、両手でコードを掴み、再び6～40cmゆっくと引き出します。ロックが外れたら、コードに手を添えて送り込むように、ゆっくり巻き戻してください。

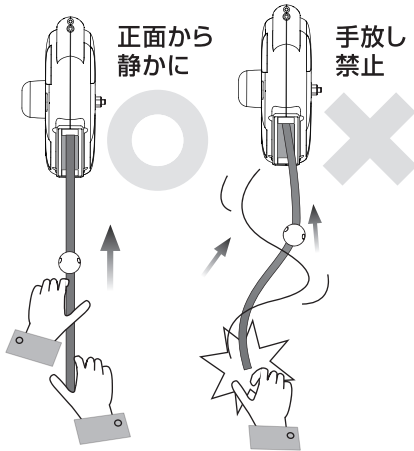


注意

■急激にコードを巻き戻すと体や物に当たり、けがや破損事故の原因となります。

■急激にコードを巻き戻すと、コードの乱巻きの原因になります。

■コードを巻き戻す際には、必ずリール正面から静かに巻き戻してください。リール横方向から戻すと、コード先端が体や物に当たり、けがや破損事故、落下の原因となります。



5. その他の注意



注意

■リール本体やコードの破損、落下、故障のおそれがあります。
下記のような使用は絶対に避けてください。

○コードを急激に曲げない。

○コードを急激に引っ張らない。

○コードを高温・高熱の物に近づけない。

○コードを工具や設備等で挟まない。

○コードを車両や重量物の下敷きにしない。

○コードおよび本体に水やオイル、床洗浄剤、塗装ミストなどを付着させない。

○本体に衝撃を与えない。

メンテナンス

■日常のお手入れ

- 定期的にリール本体の損傷、固定や接続の緩みがないか点検してください。
- コード・コンセントソケット(またはコンセントプラグ)に汚れ(水、ゴミ、油など)が付着した場合は、電源ブレーカーをOFFにするかコンセントプラグを抜いてからきれいに拭き取ってください。
- 作業前/作業後にコードの点検を行い、局所的な伸び、膨れ、湾曲、キズ、ひび割れ、硬化などがあった場合は直ちに使用を中止し、お買い求めの販売会社にご連絡ください。

■定期点検 専門家による定期点検のおすすめ

- 定期点検については、別途専門家による点検の制度がありますので、ぜひご利用くださるようおすすめします。詳しくはお買い求めの販売会社へご相談ください。

■電気消耗部品の交換目安について

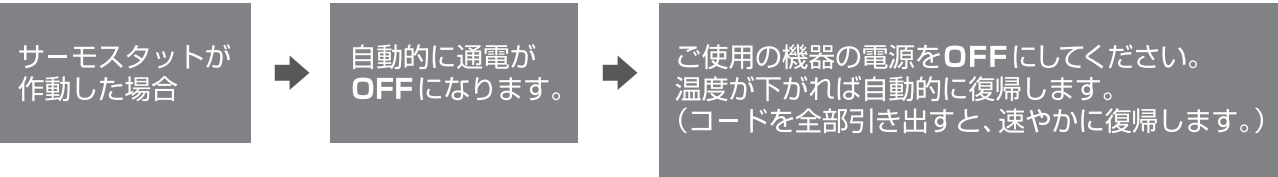
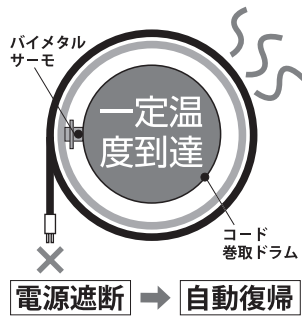
- 長期ご使用されますと電気消耗部品の経年劣化や磨耗により火災や感電事故の原因になることがありますので、下記交換時期を目安として定期的な修理・交換の実施をお願いいたします°

ケーブル類（交換目安5年）	内部接点Assy（交換目安5年）	バイメタル式サーモスタット（交換目安5年）
---------------	------------------	-----------------------

修理・交換についてはお買い求めの販売会社へご相談ください。 ※上記年数は目安であり保証値ではありません。

温度過昇防止スイッチ (サーモスタット)について

コンセントコードリールには過度の温度上昇を防止するため、コードの温度が一定温度に達すると自動的に電源を遮断する、温度過昇防止スイッチ「サーモスタット」が、本体ドラム内にセットされています。



故障と処置

故障かなと思われる前にもう一度確認してください。異常が生じたときはこの取扱説明書をよくお読みいただき、下記の点検を行ったうえで、それでも改善されない場合はお買い求めの販売会社へご相談ください。

症 状	原 因	処 置
電気がこない	電源が入っていない	電源スイッチを入れる
	コンセントソケット部の接続不良	コンセントを差し込み直す
	サーモスタットが作動している	コードを全て引き出ししばらく待つ (参照：P.10「温度過昇防止スイッチについて」)
	サーモスタットが故障している	サーモスタットの交換 販売会社へご相談ください
	コードの断線 (コードは消耗品です)	コードの交換 販売会社へご相談ください
	リール内部接点の不良 (接点は消耗品です)	接点の修理・交換 販売会社へご相談ください
コードが出てこない	ラチェットの破損	販売会社へご相談ください
コードが 巻き戻らない	コードの乱巻き	コードを全て引き出し、 手を添えてゆっくり巻き戻す
	コードの引き出し過ぎによる ラチェットの引っ掛かり	販売会社へご相談ください
	ゼンマイの破損	販売会社へご相談ください
コードが止まらない	ラチェットの破損	販売会社へご相談ください